

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	通園めだか	公表日 令和7年2月1日					
	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18		2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18		2	・国の基準以上の職員配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18		2		・倉庫や書庫が整理できていない時があるのが課題です。1週間に1回は片付ける等の対策をとっていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18		2	・個別療育や体調不良、パニックになった時等、必要な時には個別の部屋を使用して対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17		3	・始業、終業のミーティングで話をしています。また、勤務時間の違いからそれらに参加できない職員はお昼のタイミングで情報共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		3	・保護者の方々から出たご意見を踏まえた対応策を職員会議で話し合い、業務の改善に活かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18		2	・日々の情報共有と、2～3か月に1回の現場職員全員での職員会議等で、職員全員の意見を把握し、業務改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	4	5	・施設見学を受け入れており、感想やご意見は真摯に受け止め対応しています。	・第三者評価の実施については検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19		1	・オンラインも活用して職員研修の機会を増やしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16		4	・令和6年12月にいなほ福祉会のホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	17		3		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17		3	・個別支援会議には、全グループのグループリーダーが入って意見を出し合っており、全体で共通理解ができるしくみを作っています。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17		3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16		4	・園での年1回の発達相談、半期に1回の子どもの行動のまとめ、3才児以上の言語のアセスメントの実施等、標準化された書式を使いながらアセスメントを行っています。	
	16	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		4	・前回と書式が変わったので、より丁寧に説明することを心掛けました。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	1	2	・経験年数の短い職員の場合には、グループリーダーが活動の立案をサポートしたりアドバイスをしたりして、チームで考える機会を作っています。	・月案や各グループのその月のねらいに沿って、当日リーダーを担当する職員がその日の活動プログラムをたてています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18		2	・その時の季節や、子どもが楽しめること、子どもにつけてほしいかや経験してほしいこと等を加味してプログラムは作られています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	17		3	・3才児以上の子どもについては、集団療育の中で取り出しの個別療育を実施する機会を作っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18		2	・毎朝必ず職朝（職員の朝礼）を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17		3	・保育終了後、必ず終礼を行っています。	・職員によって勤務時間が異なるので、もう少し共有する時間を作りたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		2		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17		3		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17		3		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17		3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		4	・保育所への転園の際には、事前に通園めだかの様子を転園先の先生に見に来ていただき、転園してから1か月後の様子を転園先に通園めだかから見に行く等の連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17		3	・小学校への入学の際には、事前に通園めだかの様子を就学先の先生に見に来ていただき、入学してから1か月後の様子を就学先に通園めだかから見に行く等の連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	13		7	・児童発達支援センターはこの地域に1か所しかありませんが、県内のセンターとは連携を図っています。地域の放課後等デイサービスとの連携は取れています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13		7	・定期的に外部講師に来ていただき、アドバイスを頂く機会を作っています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	1	9	・自立支援協議会のメンバーに参画しています。また発達支援部会の事務局も担っています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15	1	4	・5才児は、土曜日に実施しているわんぱく教室で、保育所や幼稚園のこどもとの交流ができています。4・5才児の子どもは、年1回でしたが、近くの保育所の5才児との交流会を実施しました。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17		3		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる学習会の機会や情報提供等を行っているか。	17		3			
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17		3	・入園説明会や書類作成時に保護者に説明を行っています。	
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17		3		
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	17		3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17		3		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	4	・夏休み期間中に、きょうだいが参加できる親子保育を開催しました。夏まつりや運動会には、きょうだいも参加してもらっています。	・きょうだい同士での交流を持つ機会を設ける支援はできていません。きょうだい同士の交流が必要かは、保護者の方々の意見を聞いて検討します。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17		3	・相談や申し入れがあった時にはできるだけすぐに対応できるように職員で話し合っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17		3		・保育の様子をお伝えする写真のおたよりの発行が、今年度は大変遅くなりました。期日を定めて発行するようにします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18		2	・個人情報の取り扱いについては、ルールを定め、職員に啓発文章を配布して意識向上に努めています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17		3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16		4	・地域と共催の行事を行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18		2		・保護者への周知が不十分であると感じています。保護者懇談会の時に説明する機会を作ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18		2	・BCPを作成し、訓練も定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18		2		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18		2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18		2	・安全計画を作成しており、定期的に訓練を行っています。保護者を交えたお迎え訓練も取り入れています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	1	3	・今年度に、安全計画や非常時の対応のマニュアル等書類の整備を行いました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18		2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18		2		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	16		4	・現在、身体拘束を行う対応が必要なケースはありませんが、必要時はそのように対応しています。		